

「わけだが」と「んだけど」の違い¹

村山 康雄

長岡技術科学大学

murayama@vos.nagaokaut.ac.jp

秋山 庵然

日本体育大学

akiyama@nittai.ac.jp

Distinction Between “Wakedaga” and “Ndakedo”

Yasuo Murayama

Nagaoka University of Technology

Anzen Akiyama

Nippon Sport Science University

Abstract:

“Wakedaga” (in S_1 *wakedaga* S_2) and “ndakedo” (in S_1 *ndakedo* S_2) both function as introductory remarks. However, these two phrases can be distinguished by the following features: (1) whether the S_1 is an initiated interlocution (“sente-hatsugen”) or a response to an interlocution (“ukete-hatsugen”); (2) whether the S_1 takes the indirect form “rashii”, “yooda” or “sooda”; (3) whether the S_1 is an “objective statement” or “subjective statement” when it takes the direct form; (4) whether or not the S_1 functions to request the addressee’s participation, and (5) whether or not the S_2 is an “objective statement” or a “subjective statement”. These two words sometimes appear together with their respective co-occurring phrases.

1. はじめに

「わけだが」、「んだけど」は共に、後件を導く前置き文を導入する働きをする。本稿で扱うのは以下のような文に現れるタイプのものである。²

- (1) 昨日久しぶりに高校時代の友人に会ったわけだが、とても元気にしていた。
- (2) 昨日久しぶりに高校時代の友人と会ったんだけど、とても元気にしていた。

まず、2章で「わけ (だが)」、「のだ (けど)」を扱った先行研究を見る。3章では、これら2つの語を区別するいくつかの特徴を前件、後件に分けて考察する。この過程で、これらの特徴により、それぞれの語と共に現れる語句があることも示す。

2. 先行研究

2.1 北川 (1995) の分析

文末に現れる「わけ (だ)」について考察を行い、以下の四つの場合の「わけだ」は Maynard (1993) の言う「談話のモダリティ標識」を表すものであると述べている。その機能は話し手が「語り部」の役割を自らに課すものであるとし、彼は神尾 (1990) の「情報のなわ張り理論」の観点から、話し手が「自分のなわ張り内に属する情報を内部者として解説・説明しながら外部者に伝えようとする発言の場で現れるもの」(p. 95) と説明している。

- ① レポーターの報告
- ② 準専門家の解説
- ③ 専門家の解説
- ④ 自分の歴史、経験

③ の「自分の専門」に関する分野の例を北川から引用する。

- (3) 「たとえば婦人で顔がのぼせて足が冷えるという状態のとき、加味逍遙散という薬があるわけですね。使用目標の中に、「これは上に熱がたって下が冷えているときのに使う薬ですよ」というのが最初からあるわけです。」(菊谷豊彦、「対談・お茶の間の時間」クロワッサン 1991・07・10、158-60、160 ページ)

対談での漢方薬の権威者である人物の発言で、当然話し手は自分の領域であるから「直接形」で話してもよいのだが、「語り部」として聞き手に伝え

ようとの態度から「わけ」を使っているということである。

2.2 杉江 (2003) の分析

上記北川が分析した「談話のモダリティ標識」の「わけだ」を「のだ」と比較し、下の一对の例を挙げ、聞く相手を必要とする「わけだ」の文の方が、「のだ」の文よりも、伝達の積極性が感じられると述べている。

- (4) 今朝早く、突然、火災報知器が鳴り出したわけです。
- (5) 今朝早く、突然、火災報知器が鳴り出したたんです。

さらに、「わけだ」は「聞き手の反応を気にすることなく」(p.163)、他方「のだ」は「聞き手の反応をうかがいつつ」(p.163) 発話している印象があるとし、聞き手の反応次第では話を途中で打ち切る可能性もあり得るとしている。

2.3 李・吉田 (2002) の分析

「んだけど」について下の例を挙げ、「私が言いたいことは → ちょっと聞いて」(p.321) という発話態度を示し、聞き手の注意を喚起する役割があるとしている。

- (6) ミッドセメスターブレイクのあいだに旅行に行ったんだけど、そんとき恐ろしい勢いで食べまくって...

さらに、例 (7) のように聞き手の注意を引き付け、相手の反応を促す場合もあることを示している。

- (7) A: お願いがあるんですけど。
B: はい、なんでしょう。

2.4 『明鏡国語辞典』(2003)の定義

「既成の事実や発言の内容を確認する。」と説明し、「前置きで」として、

(8) 先週新内閣が発足したわけですが、...

の例を示している。

3. 本稿の分析

本章では、「わけだが」、「んだけど」を区別するいくつかの特徴を前件、後件に分けて考察する。

3.1 前件の特徴

3.1.1 「先手発言」／「受け手発言」

「わけだが」の前件は「受け手発言」に限られる。これは『明鏡国語辞典』の「既成の事実や発言の内容を確認する。」との定義からも推察される。他方、「んだけど」の場合は「先手発言」「受け手発言」の両方が現れる。³

(9) (ある場所で話し手が突然)

*昨日この交差点で衝突事故があったわけですが、...

とは言わない。この発言には、きっかけとなる先行の発言、すなわち「先手発言」が必要である。

(10) A: ここで事故があったそうですね。

B: ええ、昨日この交差点で衝突事故があったわけですが、5人もの死傷者が出ました。

あるいは、下の例のようにきっかけとなる話し手自身の「先手発言」がある。

(11) 昨日の体育祭についてですが、参加者が少なかったわけですが、
今年は平日に行ったため、父兄の参加が少なかったようです。

(10) では、「先手発言」を受け、事故があったことを確認しつつ、さらに詳しく説明している。(11) では、「先手発言」の体育祭があったことを確認しつつ、その内容に関する新しい情報を提示している。共に後件の前置きとして使われている。(12) はインターネットのホームページからの例である。

(12) 有楽町に「マリオン」という建物がある。デパートでいうと西武と阪急が入っているわけだが、建物の持ち主は正面左側が東宝、右側が朝日新聞。(http://member.nifty.ne.jp/reviken/hyoro/ods.html)

「わけだが」は、「先手発言」を確認する「実際」、「事実」という語と共に現れることがある。(13) はその例である。⁴

(13) 基本的に、文章を書く人間というのは、素人であろうと、玄人であろうと、文章という論理構造だけで他人に対して自己の考えを表明すべきであるだろう。そこに、独善的な部分があるのでは、それは文章書きとは言えず、駄文書きというか、むしろ落書きの類のものだろう。実際、ぼくの文章というもののほとんどは、この落書きの類なわけだが、そうは言っても、落書きからそれなりの文章を目指そうと思わないわけではない。

(http://feodor.cool.ne.jp/note/wr_aug02.html)

また、次に挙げる例のように、「さて」と現れる。「さて」は、前の話題の内容をまとめて、それと関連する次の話題へと結びつけたりする。⁵ 次の例はフィンランドのハウホという村にあるヴィーッタキビという学校に

勉強をしに来た学生の報告からのものである。

(14) 何よりも僕たちはヴィーッタキビに勉強しに来ているのである。

これだけそろっていれば十分ではないか。特に僕は、東京の過剰サービスにはうんざりしていたので、日常生活の過度な不足が快感でもあった。

(中略)

何度も繰り返すとハウホの人は怒り出すかもしれないが、ここには日本人の感覚でいえば「何もない」。したがって、何か面白いこと、は自分で作りだすしかない。そして誰が何をしようと文句をいうやつはいない。面白ければ参加してくるし、つまらなければ無視しているだけだ。自由に耐えられないところでは暮らしていけない。

こうしてヴィーッタキビでの生活が始まった。

さて、ヴィーッタキビでの生活は予想以上に順調な出だしを迎えたわけだが、どうして僕がこの学校に来たのか、それ以前になぜフィンランドを選んだのかを書いておこう。最近ではフィンランドの人気もなかなか ...

(<http://www.rironsha.co.jp/web/01/web6.html>)

ここで、「さて」は前の話題のヴィーッタキビでの生活をまとめて、関連する話題である、なぜこの学校を、またフィンランドを選んだかへと話を続けている。

「わけだが」は、全く新しい話題へと話を変える「話は変わるが」のような表現には続かない。すなわち「先手発言」がない場合には使えない。

(15) * 話は変わりますが、昨日田中君に久しぶりに会ったわけですが、とても元気でした。

「わけだが」は「受け手発言」でのみで使われるが、他方「んだけど」は「先手発言」として使われることができる。話し手は突然 (16)、(17) のような発言をすることができる。

(16) (実は、) 昨日この交差点で衝突事故があったんですけど、5人もの死傷者が出たんですよ。

(17) (実は、) あなたに聞いてほしいことがあるんですけど。

上の例のように、「実は」は「打ち明けて言うと」の意味で、話し手自身の発想で使われるので、「先手発言」の中で使われる。⁶

当然、話題を変える「話は変わるが」のような表現に続くことができる。

(18) 話は変わりますが、昨日久しぶりに田中君に会ったんですけど、とても元気そうでした。

「んだけど」は、また「受け手発言」としても使われる。

(19) A: ここで事故があったそうですね。

B: ええ、昨日この交差点で衝突事故があったんですけど、5人もの死傷者が出たんですよ。

「んだけど」は「受け手発言」としても「さて」とは現れにくいようである。例 (14) の「わけだが」を「んだけど」と入れ替えると少し不自然な感じがする。

(20=14') こうしてヴィーッタキビでの生活が始まった。

?さて、ヴィーッタキビでの生活は予想以上に順調な出だしを迎えたんだけど、どうして僕がこの学校に来たのか、それ以前になぜフィンランドを選んだのかを書いておこう。

3.1.2 「直接形」／「間接形」

「わけだが」は伝聞を表す「ようだ」、「らしい」、「そうだ」の「間接形」とは現れない。他方、「んだけど」は現れる。⁷もちろん、「わけだが」、「んだけど」は、共にこれまで見てきた例のように「直接形」と現れる。

(21) 田中さんは来年アメリカに行く* {ような、らしい、そうだ} わけだが、...

(22) 田中さんは来年アメリカに行く {ような、らしい、そうな} んだけど、...

3.1.3 直接形の内容の違い — 「客観的な陳述」／「主観的な陳述」

前件が「直接形」、すなわち事実である場合には、その内容に違いがある。「わけだが」の前件は「客観的陳述」(objective statement) のみが、「んだけど」は「主観的陳述」(subjective statement)、「客観的陳述」の両方が現れる。

前節で「わけだが」の前件には「直接形」、つまり事実しか現れないことを見た。すなわち、これは「客観的陳述」と言える。その内容も (10) の例のような話し手（およびその事故を知っている人）にとってだけのような狭い範囲での事実もあり、(12) の場合のようにもっと多くの人の間での事実もある。さらには、(23)、(24) ような歴史的事実、ルールなどが現れる場合もある。

(23) 中世の市民は商工業者に従事する人々であったわけですが、これら商工業者についても、自由と引き換えに個人として厳しい集団的規律に服していたのです。(歴史上の事実)
(<http://www2u.biglobe.ne.jp/~tkawaka/shimin.htm>)

- (24) (カヌーのスラローム競技について説明) … ポール 2 本の間 (ゲート) をすり抜けていくわけだが、ゲートには上流から下流へのダウンゲートと、その逆に通過しなければならないアップゲートがある。(スポーツのルール)
- (<http://www.kyoto-np.co.jp/kp/rensai/kimama/15a.html>)

「わけだが」には、(25) に見られるように、話し手の感情、意思などを表す「主観的陳述」は現れない。

- (25) *僕は彼に会いたいわけだが、… (希望)

他方、「んだけど」の場合は、話し手の感情、希望などを表す「主観的陳述」が現れることがある。

- (26) 合い鍵を作りたいんだけど、どうしたらいいの? (希望)
- (<http://www.miwa-lock.co.jp/lock/answer6.htm>)

- (27) 僕、彼のこと気に入っているんだけど、どうすれば仲良くなれるかな? (感情)

3.1.1 で「実は」は「んだけど」と共に「先手発言」で使われることを見た。「実は」を『新明解国語辞典』(第4版)(1996)は「… 内情(事情)を端的にいうならば。」と定義している。

- (28) A: お子さんがお生まれになったんですってね?
B: ええ、実は男の子なんです。

つまり、他人には分からない話し手自身の気持ち、感情を表すのに適していると言える。

(29=26') 実は合い鍵を作りたいんだけど、どうしたらいいの？（希望）

「実は」は「客観的陳述」、特に誰もが知っているような事実を表す「わけだが」とは現れにくいようである。

(30=12') ... ?実は、デパートでいうと西武と阪急が入っているわけだが、建物の持ち主は正面左側が東宝、右側が朝日新聞。
(<http://member.nifty.ne.jp/reviken/hyoro/ods.html>)

「んだけど」は、「客観的陳述」と共に使われることもある。ただ、(12)、(23)、(24) のようなみんなが知っている事実、歴史上の事実などを述べるものとは現れにくいようで、インターネットのホームページにはそのような例は見あたらなかった。下の例は話し手自身に関する事実である。

(31) 生命保険を満期でもらったんだけど申告は必要なの？「課長 ...
(http://homepage1.nifty.com/shikari/data/main/2000_03_06.htm)

(32) では、「わけだが」、「んだけど」共に使えるが、「明日から4連休(だ)」が意味することに違いがあるように感じられる。

(32) 明日から4連休な {わけだが/んだけど}、こんなことはめったにない。

「わけだが」の場合には、個人の事情とは関係なく、暦の上で祝日・日曜等の休日が続いた結果として連休となるという印象が強い。それに対して「んだけど」の場合には、暦の上の休日とその個人が取った休暇とが連続したり、あるいは最初から個人的に連続して有給休暇を取った等の結果、その個人だけが4連休になるというニュアンスをも強く感じさせる。その

理由は、同じ「客観的陳述」が使われても、「わけだが」の場合は話し手（および聞き手）だけではなく、(12)、(23)、(24) で見たように、歴史上の事実のような普遍的な事実を表す場合が多いが、それに対して「んだけど」は(31) のような話し手（および聞き手）だけにとっての個別的な事実が多いためと思われる。

3.1.4 聞き手への働きかけ

「んだけど」は、2.3 で李・吉田 (2002) の研究で見たように、聞き手への働きかけ、聞き手の注意を引くための用法がある。これは「んだけど」が「先手発言」で使われるためである。話し手は聞き手の発言に答えるのではなく、自ら先に発言を始めなくてはならない。

- (33) ちょっと言いたいことがあるんだけど。だいたいさあ。48 kg の人が 45 kg に減量するっていうんなら、なかなか減らないのは分かるよ。(http://d.hatena.ne.jp/RISA/20041102)

「わけだが」には「受け手発言」が現れるので、不自然である。

- (34) ??ちょっと言いたいことがあるわけだが、...

また、文末の「わけだ」も杉江 (2003) の指摘のように「聞き手の反応を気にすることなく」、また北川 (1995) の言う「語り部」として、淡々と事実を述べる働きをするので、話し手の主張を表す「よ」とは現れにくいようである。他方、「のだ」は(33) に見られるように「先手発言」で聞き手への働きかけに使われる。つまり、聞き手への積極的な伝達の姿勢を持っているので、「よ」と現れると思われる。

(35) A: 昨日ここで交通事故があったんですってね?

B: ?? ええ、5人ものけが人が出たわけですよ。

B: ええ、5人ものけが人が出たんですよ。

「ちょっと聞いて欲しいんだけど」、「ちょっと言いたいんだけど」ほど聞き手への直接的な働きかけはないが、これらと同じように聞き手の関心を引き、伝達を行おうとする下記のような例もある。

(36) ふと思ったんだけど、こうやってここにひんばんに書いていたら、バディとか、他にもいろいろと頼まれて あちこちにコラムを書いているんですけど、そこで書くことと ...

(<http://www.bureau415.com/kitamaru/archives/000011.html>)

3.2 後件

「わけだが」は「客観的陳述」が、「んだけど」には「主観的陳述」が多く見られるが、「客観的陳述」も現れる。

(37) 初期の MP3 関連のソフトはオンライン上で発展してきたわけだが、一時期から、ある程度以上のクオリティを持つフリーエンコーダは、著作権の関係で姿を消した。

(<http://www.tdk.co.jp/digipara/dap20500.stm>)

(38) 原稿は内蔵のワープロで書くわけだが、その漢字変換性能の低さときたら、もう頭に来るのを乗り越えてたいしたものだと思うぐらいに低い。(<http://www4.justnet.ne.jp/~kat/txt/nikki/990817.htm>)

(39) 今新しいプロジェクトの説明をしたわけですが、何か提案、意見などありますか？

上二つは、前件の発言内容に対してコメントを行っており、最後の例はコメントを求めている。

他方、「んだけど」は前件の状況に対して、依頼、アドバイス求める、感情を表現する等、「主観的陳述」が現れる。

(40) 税金の申告書を書きたいんだけど、書き方教えてくださいませんか？

(依頼)

(41) 美和ロックの製品が欲しいんだけど、どこで買えるの？(アドバイス求める) (<http://www.miwa-lock.co.jp/lock/answer7.htm>)

(42) 今日は「さくら」の最終回だったんだけど、終わっちゃうの残念だなあ。「ちょっといいもの」の「TV 好き？」でも紹介したけど、すごいいいドラマだったんだよね。(残念な気持ち)

(<http://www.callmekomi.com/jff/nt/0209.html>)

「んだけど」には「客観的陳述」も現れる。

(43) 今月号初めて買ったんだけど、C U T I E最高！！

(http://guriuri.com/ranking/Pre/Page_110/Tb115.html)

4. まとめ

本稿では「わけだが」と「んだけど」の違いを前件、後件に分けて、いくつかの特徴がこれら二つを区別することを見た。前件と後件の関係はそれぞれ以下のようにまとめられる。

「わけだが」の前件は「受け手発言」で「直接形」が現れる。その内容は事実を表す「客観的陳述」で、会話の当事者だけにとってのものだけではなく、さらに歴史上の事実等をも表す。後件は前件の陳述に対するコメントである「客観的陳述」である。

他方、「んだけど」では前件は「先手発言」が多いが、「受け手発言」も見られる。話し手の希望、気持ちを表す「主観的陳述」が現れる場合が多いが、「客観的陳述」も見られる。この場合には会話の当事者だけにとっての事実が多い。後件では前件での話し手の希望、気持ちに対して、聞き手への話し手の依頼等の「主観的陳述」が現れる。後件には「客観的陳述」も現れることもある。

注

- 1 本稿は2004年3月にクレムソン大学で開催された 19th Southeastern Association of Teachers of Japanese の発表原稿を大幅に加筆修正したものである。
- 2 次のような文に出てくる「わけ」、「んだ」に逆説の「けど」が接続した「わけだが」、「んだけど」は、ここでは扱わない。
 - ・ 私の場合、アメリカを理解するのは音楽から入っていった。アメリカは人種のるつぼ。従って各人種によってそれぞれ異なった音楽があるわけだが、それらの種を越えた共通の音楽がアメリカにある。
(<http://homepage3.nifty.com/ryokodo/branson3.html>)
 - ・ 勉強はしているんだけど、成績が上がらないんです。
(<http://www002.upp.so-net.ne.jp/singakukouza/nayamibenkyou.html>)

以降、例文として使われる文には、(1) 上記の例のようにインターネットのホームページから引用したもの、(2) 筆者が作成したもの、がある。前者については上記の例文のように、引用元の URL を記す。後者には何も記さない。

- 3 この「先手発言」、「受け手発言」の概念は、陳 (1987) が提唱したもので、「あいてにまず話しかける発言を「先手発言」、それを受けて答える発言を「受け手発言」(p.101) と定義している。
- 4 「事実」と「実際」では使い方が異なるように思われる。下の例に見るように、話し手自身が体験した行為には「実際」が、話し手の体験とは関係のない事実には「事実」が自然なように思われる。
 - ・ A: 君、本当に彼に会ったの?
B: うん、{事実／実際} 昨日会ったよ。(自分自身の体験)
 - ・ A: 本当にコロンブスがアメリカ大陸を発見したの?
B: うん、{事実／?実際} 彼が 1492 年に発見したんだ。(歴史上の事実、ルールなど)

また、次のような統語的な違いもある。

- ・ 彼が昨日ここに来たのは {事実/*実際} だ。
- 5 ここでの「さて」は、以下の例に見られるような、全く新しい話題に転ずる用法とは異なる。
- ・ ここまでニュースをお伝えしました。 さて、ここから天気予報となります。
- 6 「実は」については3.1.3でも触れる。
- 7 この理由は現在の段階では分からない。『明鏡国語辞典』は、「既成の事実や発言の内容を確認する。」としているが、確かに既成の「事実」は「ようだ」、「らしい」、「そうだ」の伝聞のようなあいまいな表現とは共に現れないことになるが、聞き手(=相手)の発言の場合、その発言を確認する際、なぜ「わけだが」が使えないのかその理由が説明できない。これについては更なる研究が必要と思われる。

参考文献

- 神尾昭雄 (1990) 『情報のなわ張り理論—言語の機能的分析』 大修館書店
- 北川千里 (1995) 「「わけ」というわけ」 『日本語学』 9, 88-98
- 北原保雄編 (2003) 『明鏡国語辞典』 大修館書店
- 金田一京助 (1996) 『新明解国語辞典』 (第4版) 三省堂
- 杉江厚美 (2003) 「「わけだ」と他の文末のモダリティ表現との違い—「の
だ」との比較を通して—」 『ジャーナル CAJLE—日本語教育研究論集—』
5, 149-165 カナダ日本語教育振興会
- 陳常好 (1987) 「終助詞—話し手と聞き手の認識のギャップをうめるための
文接辞—」 『日本語』 10, 93-109 明治書院
- 李徳泳・吉田章子 (2002) 「会話における「んだ+けど」についての一考察」
『世界の日本語教育』 12, 223-237 国際交流基金 日本語国際センター
- Maynard, S. K. (1993). *Discourse modality: Subjectivity, emotion and voice in the
Japanese language*. Amsterdam, The Netherlands: John Benjamins.